

## 会 議 要 旨

会議名	令和7年度第1回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日	令和7年11月6日(木)午後2時00分～午後3時20分
開催場所	館山市役所 本館2階会議室
出席者	館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会委員：10名 (事務局)館山市：4名(オブザーバー)館山市長、南房総市：2名、 安房地域振興事務所：1名
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 一部非公開 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員の委嘱 任期満了に伴い改めて委員となった出席者に委嘱状を交付した。</p> <p>3. 議題 (1) 会長、副会長の選任 委員の互選により、会長に渡邊委員(千葉県市町村課推薦)、副会長に小笠原委員(館山市金融団推薦)を選任した。</p> <p>(2) 令和6年度の事業報告について (3) 令和7年度の事業計画について 2議題について事務局から説明し、一括して質疑応答とした。</p> <p><b>【質疑応答】</b> <u>&lt;事業5：有害鳥獣被害防止技術向上事業&gt;</u> 《八代委員》千葉県南房総地域は熊が出ない、というのが移住先選定の理由の一つになっているが、実際、馬鹿にならない話だなと感じている。一方、イノシシは居る。定住自立圏は将来的にここで暮らす市民がいかに快適に、安心して住めるのか、というところを目指している。さらに、移住者が増えていくことを考えるうえで、イノシシの問題は大きな課題だと考える。</p> <p>先日もイノシシが館山市役所前に出沒し大騒ぎになったが、人が住む範囲や、人が耕作をしている畑に出沒することが問題だと思う。</p> <p>ハンターの技術向上やハンターを増やすことが取組に記載されているが、まず、イノシシがどこに出沒しているのかを正確に把握することが必要だと思う。ハンターは街中に罠を仕掛けない。山中のここで捕獲した、というデータはある。</p> <p>富崎地区が漁村だが、漁村の中をイノシシが闊歩している。</p>

暗い時間帯に犬の散歩ができない、と地区の人は言っている。熊が出なくてもイノシシが出るのは良くない状況であることに変わりはない。また、イノシシに市境は関係ない。熊の問題で深刻になっている地域では、熊の出没地点をマップにしている。この辺で目撃事例が多い、のようなデータを獣害対策として行った方がよいのではないか。

《渡邊会長》館山市、南房総市だけではなく、広域的な課題だと思う。2市で取り組むより、県事業として取り組む方が良いかもしれない。県自然保護課に意見があったことを伝える。

#### ＜事業7：データに基づく戦略的観光プロモーション＞

《小笠原委員》K P I の観光入込客数は順調に増加しているが、宿泊者数がやや停滞となっており、日帰り観光客が非常に多いのではないかと推測する。令和6年度の取組に「ナイトタイムエコノミー」があり、これが宿泊者を増やすための重要なキーワードだと考えるが、令和7年度の取組には記載がない。宿泊者数を増やすためにナイトタイムエコノミーに取組んでほしい。

《事務局》頂いた意見を担当課に伝える。

《小笠原委員》K P I の宿泊客数に「貸別荘宿泊者数」は含まれているのか。

《事務局》含まれていない。各宿泊施設に照会した数値を積み上げた宿泊者数となっているが、個人事業者の増や回答いただけない事業者もあり、貸別荘宿泊者数は含まない数値となっている。

《小笠原委員》貸別荘が増え宿泊者数も増えていると感じている。

《事務局》貸別荘宿泊者数の把握は課題の一つと考えている。

《酒井委員》LINE の活用による顧客管理及び情報発信とあるが、この効果はどのようなものがあるか。

《事務局》確認し後日回答する。

《小笠原委員》事業費について、館山市と南房総市で大きく金額が異なる。2市の観光協会が共同で実施する事業に対し補助金を交付するとなっているが、現在、館山市ではDMO設立に向けて館山市観光協会が活動しているが、その関連で事業費に差があるのか。

《事務局》共同実施する事業に限定して交付している。アンケート調査等については、DMO設立に際し活用できるデータとして活用することはあり得る。

《酒井委員》DMOについて、鴨川市、南房総市ではDMOが設立されており、館山市は出遅れている状況である。来年7月の申請を目標にしており、また、2、3年後に宿泊税の徴収が始まるが、DMOがその受け皿となることから、市の財

源を当てにしておらず、観光協会の財源を確保して運営していく考えである。

<事業9：生涯学習活動振興連携事業>

《石井委員》稲村城跡も岡本城跡も里見氏にゆかりの城跡で、同時に国の史跡指定を受けたが、クローズアップされていない。佐倉城跡ではシンポジウムを開催し、史跡指定の経緯などを市民に伝え、これからどうやって史跡を守っていきましようか、とシンポジウムを活用し実施したと聞いている。2市でも、2つの城跡を一緒にクローズアップする方法を検討してほしい。

《事務局》館山市では現在、「文化財保存活用地域計画」の策定を進めている。その中で、稲村城跡と岡本城跡の活用について、一緒にできることがあれば取組んではどうか、と意見を挙げている状況であるので、計画の策定までお待ちいただきたい。

<事業11：学校の魅力向上推進事業>

《岡崎委員》館山総合高校海洋科は来年度から生徒だけで進学できるようになる協議が進んでいるようだが、下宿先探しが必要になってくる。寮・下宿先になり得る施設などがあれば情報提供し、高校と連携して取組んでほしい。

《事務局》県内3か所しかない海洋科について、令和8年度から身元引受人を確保することを条件に、県内全域から生徒だけでの進学ができるようになる。受入れのための施設と、身元引受人の確保が大きな課題である。

現在、館山総合高校と県教育政策課とともに寮の確保に向けて動いており、本間委員、八代委員にも関わっていただきながら、観光協会内の旅館組合や民宿組合への働きかけを行い、また、地元紙を媒体として情報発信をしている。富浦のペンションや千倉の民宿から手が挙がるなど、少しずつ進んでいる。

《岡崎委員》身元引受人も担ってもらえそうなのか。

《事務局》今後の協議次第である。

《熊澤委員》安房地域から20%の中学生が君津・木更津の高校へ毎年進学している。中学3年生は800人前後のため、160人が地域外に出ている。木更津は同様に、千葉に出ている。北への志向はここ何十年も変わらない。

160人を地域内に留めることを検討してほしい。

南房総市は白浜中、千倉中を統合し南房総中を設立した際に白浜学区からスクールバスを運行し、安房拓心高校の生徒が同乗できるようになった。館山でも通いにくい地区に

住む生徒のために同じような形で、館山駅前や安房高、館山総合高の近くを経由するような形をとるなど、交通の便を確保することで、市内でもこのようなことを取組んでいますよ、と、県立学校と市の連携で北への160人の流出を食い止めることを検討した方が現実的だと思う。

《事務局》意見を教育委員会と共有し検討する。

#### <事業12：南房総・館山地域公共交通活性化推進事業>

《小林委員》夜の交通が改善されない限り外出を控えることとなる。

たとえば夜に急患で医療センターに搬送されたが、入院の必要が無いとの診断で帰れる状況になっても、身内が居なければタクシーも無く、明け方まで待合室で待たなければならないパターンを聞いたことがある。

《事務局》夜間の交通空白時間帯の補完はとても重要な課題だと考えている。本年3月から「公共ライドシェア」の実証運行を開始し、夜10時から翌朝6時まで運行したが、実際に指定医療機関からの利用は1件のみだったこともあり、現在は夜9時から翌日午前1時までの時間帯で実証運行を続けている。

昨年度から、2市による公共交通計画の策定を進めており、市民アンケートの結果等を踏まえ、課題を精査している状況である。結果を提示できる機会があれば提示したい。

《小林委員》ライドシェアがあることは知っているが、頼み方を知らない。周知の問題もあるのかもしれない。

《事務局》公共ライドシェアを利用するためには車を自宅に置いて出勤するなど、生活パターンを変えることも必要となり、そのハードルもあると思われる。いずれにしても、周知を強化し利用者、更にはドライバーの確保にも力を入れていきたい。

#### <事業13：移住定住・就業促進事業>

《八代委員》移住希望者からの相談を受けている中で、安価に家を確保したい意向があると思われるが、空き家の活用希望が多い。2市の空き家バンクの情報が共有されれば効率が良いのではないかと考えている。空き家バンクのシステムは若干異なっているが、一方、2市の空き家を扱っている不動産事業者は結構多い。

平砂浦地域やバブル期に建てられた別荘が空き家になってきている。移住希望者は館山市に住みたい、南房総市に住みたい、というよりは、この地域に住みたいという方が多いので、南房総市の物件は南房総市に聞いてください、館山市の物件は館山市に聞いてください、のような非効率も解消されると思う。

さらに、体感測であるが、移住相談で「2地域居住」の相

談が非常に増えている。一方、移住相談業務を行政から受託している団体として、2地域居住の手伝いをした際に2市にどのようなメリットがあるのだろうか、と考えることがある。

別荘に宿泊すると旅館・ホテルの利用がされず、食材を持ち込んでゴミだけ出して帰ってしまうことを考えると、メリットを見出すことができない。せめて空き家を活用してもらうことで、空き家対策の面から2市にメリットがあるのではないか、と思う。

《事務局》頂いた意見を空き家対策の担当課に伝える。

#### <事業14：館山市・南房総市共通返礼品の企画・開発とPR>

《石井委員》KPIは達成したようだが、事業費はゼロとなっている。どのような事業なのか。

《事務局》2市職員と生産事業者が協議し、ふるさと納税返礼品の要件を満たす共通の返礼品を開発するものである。資料にある事業費は職員人件費を含んでいない。

#### <重要業績評価指標：KPI>

《本間委員》各KPIの達成状況の項目に「停滞」「やや停滞」とあるが、これを改善するためにどのように取組んでいるのか。

《事務局》確認し、後日回答する。

《渡邊会長》委員が気になる所である。資料に分かるよう記載するか、答えられるようにしたほうがよい。

《事務局》承知した。

#### 4. 次期共生ビジョンの策定について

事務局から次期共生ビジョンの策定に向けたスケジュール案について説明があった。

【質疑応答】なし。

#### 5. 閉会